

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12月6日 (金)	1	14 金子辰男	1、平成26年度予算について	次年度予算の大綱を、どのような方針や内容で作成しようとしているのか。明確に提示願いたい。
			2、農業の振興策について	農業は、三豊市においては、人口の高齢化している現在でも地域経済を支える基幹産業である。この産業の危機的な現状を打開してより活性化させていくための、市独自の長期的な農業振興策を伺いたい。三豊の未来のために。
			3、総合的な環境行政に、どのように取り組むのか	三豊市の環境行政を、長期展望に立って計画立案していくことが必要であると考えているが、このことについての取り組みを伺いたい。 環境白書等も出ているが、そこでは、現在と将来にわたるビジョンが感じ取れない。少子高齢化等による人口減少等のため、縮小社会に向かうことが予測されているが、長期展望の立案なくして、三豊市民の未来は切り開けないのではなかろうか。新しいビジョンとそのための諸方策の計画立案がぜひとも必要であると考えているが、ご意見を伺いたい。
	2	13 川崎秀男	1、三豊市の当面の課題と方向性(総務部)	危機管理センターの整備による行政機能の集約化(支所問題を含む)と庁舎周辺整備
			2、三豊市の当面の課題と方向性(政策部)	公共施設の統廃合と管理運営内容の見直し
	3	3 浜口恭行	1、総合型地域スポーツクラブについて	総合型地域スポーツクラブについて、先ほど立ち上がったNPO法人三豊市総合型地域文化・スポーツクラブの今後の展開性と、三豊市当局の今後の方向性を聞く
	4	9 山本 明	1、山本町内各小学校の統合後のありようと地域コミュニティについて	28年4月以降の各小学校施設について、市はどう考えているのか。コンパクトシティ化されていく地域のあり方について、市の考え方を聞く。
			2、三豊市水道事業について	(1) 本年山本町で断水騒ぎがあった。豊中を中心とした水源、香川用水からの水、現状の水量確保は十分に確保されているのか。 (2) 工業用水を中讃より引いてくるという話が、現在どうなっているのか。 (3) 合併以前に旧町で使われていた水源の現状について。
12月9日 (月)	5	12 藤田公正	1、自治体の経営について	(1) 地域で考え地域で行動するまちづくり推進隊の設置は各町の取り組みの違いはあるが、一様の成果を上げていると思う。しかしそれぞれ課題はあるが、まちづくりとして今後市民に何を求めるのか。 (2) 合併後行政改革に取り組み、人員削減に取り組み苦労があったと思う。一方人づくりとしてどのように取り組み、今後職員に何を期待するのかを伺う。 (3) 前期、今期とも新たな多くの事業に取り組み、色々課題を残している。次期に事業を進めるにあたり、議会とどのように向き合うのか伺う。
			2、児童虐待に関する取り組みについて	(1) 児童相談所における最も重要な立場である、児童福祉司の配置状況の推移と今後の見込みについて。 (2) 児童福祉司一人当たりの担当ケース数について。 (3) 児童相談所職員、管内市職員、児童養護施設等の施設職員及び保健関係機関向けの児童虐待に関する研修の実施状況を伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12月9日 (月)	6	22 小林照武	1、三豊市の「自治会組織のあり方」について	(1)市内540に余る自治会の数が現存する現状へ向けての見解を問う。 (2)自治会への加入率が、80%程度に推移している現状へ向けての見解を問う。 (3)大き過ぎる自治会や小さ過ぎる自治会が現存する現状へ向けての見解を問う。 (4)「自治会設置規則」の目的が、「市政を適切かつ円滑に推進するため」といった目的を見る限り、極めて「自治体主導型」であり、いわゆる「行政の下請け自治会」といった感は否めないが、もっと「自治会の健全な活動促進」を希求されるような発展性を感じる文言に修正していただきたいが、見解を問う。
			2、三豊市の「学校給食への異物混入問題」について	産経ニュースで「香川県三豊市の小学校でも、給食パンの1個に虫が混入・・・云々」の事件ニュースが発表されていた。 三豊市学校給食における「異物混入対応マニュアル」によると、「発生時の対応ポイント」として、事後対応策が「詳しく列挙」されているが、今回の「異物混入事件処理」に際しては、どのような「マニュアルに基づいた対応」が講じられたのか、その対応結果について問う。
	7	4 瀧本文子	1、水道料金の統一について	(1)水道料金の改正案が提出されている。改正についての内容をお聞きする。 (2)改正案を、現時点で提案してきた根拠を説明願う。 (3)豊中町寺家水利組合とのこれまで培ってきた関係を、どのように考えているかお聞きする。
			2、学童保育について	(1)長期休業中の障害児の受け入れについて (2)有資格者、長期経験者、リーダー等への手当支給の検討
	8	26 多田 治	1、市の作成資料・文書等に著作権は存在するのか	プロポーザルの実施公募要項など市が作成した要綱とか規則に著作権はあるのかないのか？ あるとすればその所有権は市なのか作成者個人なのか
			2、情報公開と秘密保護に関して	(1)原下工業団地の損害賠償請求訴訟控訴審の状況は？秘密にしなければならないのか？ 11月28日の審理はどんなことが行われたのか (2)情報公開請求件数と開示件数は？ 開示しなかった案件とその理由は (3)議案書の再発行の要求に対して情報公開の正式手続きが必要か (4)過去に情報開示をデジカメ撮影でも認めたが、適切だったのか？その後も認めているのか
			3、市公営企業の問題点について	(1)来年度から義務づけられる、耐震診断が永康病院も対象になると思うが改築も含めてどう考えているのか？ 又、医師不足が長らく続いているがどう対応しているのか (2)水道局が沢山の業務を委託している三豊市上下水道工事組合の監督官庁は何処だと理解しているのか？市の水道局ではないのか
	9	5 西山彰人	1、市長出馬に際しての公約について	水道料金の統一、給食センターの2カ所化、保育所の定数を公約化するのか伺う
			2、水道料金の統一について	水道料金統一の市民周知について
			3、職員の処分についての責任のあり方について	全ての責任は市長にあるとの発言を受けて、市長の真意を伺う

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12月10日 (火)	10	2 込山文吉	1、新たな地域支援事業の実施について	現在、国においては、第6期介護保険事業計画を視野に、これまで個別給付として実施してきた介護予防給付について、市町村が実施している地域支援事業に段階的に移行させ、新しい地域支援事業として包括的に実施する方向で検討が進められている。急激な制度変更は、現場の事業者や市町村に大きな混乱を生ずることになる。新しい総合事業は平成29年4月までに実施させるとされているが、三豊市として円滑に実施が可能なのか、介護給付と合わせて事業実施を行っている事業者などに対して円滑な事業移行ができるのか、現状の課題をお聞きする。
			2、空き家対策について	少子高齢化と核家族化が進む中、独居高齢者が増えており、その人の死後にその人の持ち家に住む人がいないなどの理由で空き家が増え続けている。平成20年の総務省統計局の調査によると、全国の空き家は757万戸で、空き家率は13.1%と過去最高の割合となった。 三豊市においても1600戸を超える空き家があると聞きしている。 所沢市に始まった「空き家条例」も全国250を超える自治体で条例の制定がなされた。 三豊市においても空き家対策の観点から条例の制定を急ぐべきと考え、市長にお聞きする。 (1)三豊市の空き家対策の現状と課題をお聞きする。 (2)空き家対策条例制定の可否についてお考えをお聞きする。
	11	10 岩田秀樹	1、市内特別養護老人ホームの入所基準を明らかにし、待機者の解消を	市内に「サービス付き高齢者向け住宅」が建設されている。反面特養の施設は限定している。この施設に入所する際の基準が、国の省令で決められている。市内特養ホームの入所基準を明らかにし、入所決定の過程の透明性や公平性を確保し運用することが必要ではないか。入所基準を市要綱として決めることについてどう考えるか。
			2、生活保護基準引き下げの市内での影響は	厚生労働省は生活保護基準の引き下げに伴い、38の制度に影響が出るとしている。各自治体は、独自の制度を含め影響がある。政府が8月に行った保護基準の引き下げは、諸制度の利用者に深刻な影響を与えることが心配される。ある自治体では人口約16万に対して、諸制度の利用者は延べ約12万人で人口の3/4を占めるといわれている。 三豊市の生活保護基準の見直しに伴い影響が出る制度の名称と利用者数、2014年度影響者予測数を明らかにしてほしい。
			3、少人数学級の市内全学級での実現	学級の人数が20人位の適正規模が、授業もわかりやすく、学級の荒れも少ないといわれている。市内学校には、1クラスの生徒数に格差が生じている。これを解消すべく、すべての小中学校での30人以下学級の実現してほしい。そして、単クラスと複数クラスの学校間格差解消を実現してほしい。
	12	18 近藤久志	1、市民力の育成・産業振興策について	H23年度に、市長の施政方針で示した、小さくてもそれぞれが持つ能力を組み合わせることで、きずなを強めて、笑顔で新時代に挑戦するとした。 「チーム三豊」の構想から3年経過しようとしているが、その成果と、これからの創造と、つなぐ施策を伺う。
	13	1 水本真奈美	1、がん対策	(1)健康相談窓口について (2)がん教育について
			2、視覚障がい者の日常用具について	地上デジタル対応のワンセグラジオを支給対象品目に加える考えを伺う
			3、動物愛護について	改正動物愛護管理法が9月1日より制定された。 (1)これにより本市の犬、猫の引き取り業務がどう変わるのか (2)殺処分ゼロに向けての取り組み (3)マイクロチップ装着推進への取り組み (4)災害時のペット同行避難への取り組み

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12月10日 (火)	14	6 三木秀樹	1、民主主義の根幹をゆるがす「特定秘密保護法」について、市長の見解を聞く	国が暴走した戦前の反省に立って立憲主義の立場から国民主権の憲法が出来ているが、特定秘密保護法は、①解釈次第では「特定秘密」は広範囲に際限なく広がる。②公開されない秘密を設けること自体が正しい情報を阻害する等から、国民の基本的人権の尊重でなく国益を優先することを目的とする法となる。自治体も大きく影響するが市長の見解を聞く。
			2、地震等に対する減災対策の具体的取り組みを聞く	(1)市内に「倒壊の恐れ」のある民家、倉庫等が放置された状態で現存する。地震等で倒壊することによる二次被害が想定される。地権者への対応等市の対策を聞く。 (2)防災訓練は充実してきているが、地震が起こった時、市からの避難所の開設指針等が出ていないことから、各地域に合致した瞬時に行動するマニュアル作りが出来ていないと聞く。早急に市の減災の基本施策を出すべきと思うがどうか。
			3、耕作放棄地の現状と対策について	高齢化と食物の低廉化で耕作意欲の低下等から田畑の耕作放棄地は拡大している。市内の現状と放棄地解消に向けた市の対策を聞く。
			4、永康病院の方針、「うらしま号」の善処策の進捗状況を聞く	6月議会で「合併特例債の最終年度を視野に検討する」との答弁だった永康病院に対する市の方針作りの進捗状況。9月議会で「今後、うらしま号の更新の方針を定める」との事だったが、うらしま号活用の進捗状況を聞く。
			5、住民への周知・説明対策の具体的取り組みを聞く	(1)低地盤(海拔ゼロメートル地帯)の河川対策。 (2)急傾斜地の点検を7月から年末にかけて行なっているが、その結果対策。